

# H29 年度コラボレーターの取り組み

テーマ

やってみる

## 取り組み① H29.5.30

### 《研修》

『特別な配慮が必要な子どもへの理解と対応』 講師:長崎県庁こども未来課 大町江里先生

☆見方を変える『困った子』→『困っている子』

☆子ども達の行動・成長の背景にあるもの に視点をもつ

☆園で出来る対応・サポートの具体例

☆『合理的配慮』と『差別』の違い



## 取り組み② H29.8.29

### 《取り組み発表》

❖おおとり保育園 ～園内で情報を共有する工夫～

みんなで見守り、育む保育

❖堂崎の里ひかり保育園 ～地域や保護者のみなさんにつながる工夫～

地域の方々と一緒に行う行事・おやじの会・親子で遊ぼう DAY

❖めぐみ保育園 ～子どもの持つ力を伸ばす工夫～

子どもの『出来た』を見える化・一目でわかる！折り紙の折り方



## 取り組み③ H30.1.25

### 《意見交換会》

小学校・中学校の先生達と一緒に考える。

お互いのことを知ろう！

～『乳幼児期のサポートってこんなことしています』

『学齢期のサポートってこんなことしています』～

困っている子の困っている理由はなんだろう！？

対応の仕方やご家庭との協力の仕方はどうしてる？



## 取り組み④ H30.3.9

### 《グループワーク》

保護者の気持ちを知ろう！

ペアレントメンターに『幼稚園、保育園時代に困っていたこと』『嬉しい声掛け・傷ついた

声掛け』『幼稚園・保育園にお願いしたいこと』などなど・・・

お子さんの育ちを一緒に支えていく上で必要なことについて一緒に考える機会を持ちました。

※ペアレントメンターとは！？

発達障害をもつお子さんの養育経験がある保護者が活動に関する専門的な講義を受講し、認定を受けたうえで、少し先を行く先輩として、保護者の心理的支援を行うもの。

(ホームページ『ペアレントメンターながさき』から文章抜粋)